

西東京市 産業ニュース

NISHITOKYO CITY
INDUSTRY
NEWS

西東京市の注目の企業の
ホットな情報をお届けします。
市内企業へのマッチング、
商談などのご相談や
「西東京市 匠NAVI」への掲載を
希望される方は、
産業振興課(042-438-4041)まで
お問い合わせください。



映画・テレビ・CMなどにも登場

ユニークな先端のロボットを製作

オフィス松原（松原真人社長）は、三鷹の森ジブリ美術館や国内有数のテーマパークなどに展示されるキャラクターロボットなどの企画・メーキングを行っている。また、映画、テレビCMなどに出演する人型ロボットや動物型ロボットの設計、製作なども手掛けている。

作品は顧客のオーダーに応じて製作するが、オリジナル作品を作ることもある。西東京商工会の「ものづくり交流会」を機に作った「ゆるロボット1号」もその一つだ。2個の機械が電気信号で連動して動き、4本の指でボールを掴む。作品は多品種、少量生産で、中には1年かけて製作するものもある。

「これからも人に感動を与えられる仕事をしたい」と松原社長は語る。

松原社長は、西洋のからくり人形とも言われる機械人形を作る造形会社を経て、昭和63年に独立。これまでに映画やテレビで、本物の犬に代わり死ぬシーンを演じる犬型ロボットや、テレビ局のイベントで使う音声対話型の全長数mの恐竜型ロボットなどを製作。ラジコンや電気信号で作動するもので、大型ロボットはまぶたを自然に開閉させるなど現在のハイテクロボットの基盤となっている。



安心安全を第一に、しくみがわかる透明ロボット「ゆるロボ1号」



国内でも数少ない技術を持つ松原社長

企業Data

オフィス松原

お問い合わせ先

◆西東京市産業振興課 042-438-4041

◆西東京商工会 042-461-4573

オフィス松原 西東京

検索

繊細な加工技術が得意

ニーズに合った金属製ばねを製作

堅川スプリング製作所（端山朝雄社長）は、腕時計や釣りのリール、チェンソーなどの部品として使われる微細な金属製「ばね」を製造。機械では作れない手作業による繊細な加工技術得意としている。

力を入れているのは「ジューススプリング」。これは業界大手の「椿本チエイン」が工場の搬送装置において、丸くて長いチェンソーがよじれて連ばれないように固定させる四角いばねだ。その他にも超高級腕時計につける直径1〜2mmの極小のばねなども製造している。

また、これらさまざまな商品の中でも職人の技が際立つのが、釣り竿の「リールばね」だ。軽い素材のばね用チタンを使用しているが、曲げると折れやすいため、手作業で行われる。難しい作業だが、熟練の技と知識で手早く曲げることができ



創業の頃から稼働している機械の前に立つ端山社長



手作業で技術を駆使する技術者

企業Data

有限会社堅川スプリング製作所

◆住所:本社工場 西東京市田無町1-3-3

瑞穂工場 西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷654

◆電話:042-461-6063(本社)

堅川スプリング製作所

検索

自動機・省力機器・治工具類の設計製作に加え

自動車エンジンの金型を製造

谷戸町に本社を構える富士アクティブ（吉田健三社長）は、平成14年に創業。自動機・省力機器の設計製作や大手自動車メーカーの金属部品加工などを請け負っていたが、次第にアルミ合金のエンジン金型の組み立て仕上げ部門を任せられるようになった。現在、7人の社員を金型の仕上げ職人として大手自動車メーカーに派遣している。エンジンの国内生産にこだわる自動車メーカーの要の部門で、セキュリティも厳しく、富士アクティブがホームページを開設せず、外部に広報をしないのもそのためだという。

吉田社長は機械工具商社出身。「これからは溶融した金属を金型に圧入するダイカストの時代がくる」と独立し、金型製作に注力した。金型加工以外に省力装置の設計加工、治工具類の設計製作や販売も行う。



稲城市矢野口に工場がある

企業Data

有限会社富士アクティブ

◆住所:西東京市谷戸町3-22-10

◆電話:042-438-7611



「ドイツのように職人が尊敬される環境を作っていきたい」と語る吉田社長

吉田社長は、「日本のものづくりを支えるために、これからは設備を入れて機械加工を強化するとともに、次の時代を担う若い技術者を育てていきたい。また、電子部品やマグネット関連にも力を入れていきたい」と話す。

西東京市の 女性経営者紹介 COLUMN



社員たちは皆、家族のように仲がいい

「回遊魚のように動き回って人との出会いを楽しんでいます」と豊永代表



会社設立から7年、これまでは会社を維持することに力を注いできた。今、豊永代表の胸にあるのは「アニメを一つの表現として、ビジネスモデルを展開できないか」ということ。アニメ制作は分業化が進み、シナリオ、作画、編集はそれぞれ別の会社で行っているが、同社は自社内で編集まで完結できる体制を整えた。発注者と作り手の顔が見え、心から喜んでもらえるような映像づくりを目指している。企業のHPのミニCM、「ゆるキャラ」のかわいい映像制作の他、エクラアニマルならではのブランド作りを展開中。



アニメの原画を描く作画監督の本多さん

アニメ制作を通じて
子どもたちも地域も元気にしたい

豊永ひとみ代表が株式会社エクラアニマルを設立したのは平成19年11月。勤めていたアニメ制作会社が解散し、「志を同じくした仲間と仕事をしたい」と自己資金を投じて同社を立ち上げた。社名の「エクラ」とはフランス語で「輝く」という意味。アニメーター達が輝いて仕事ができるように、とまるで母親のように社員12人の食生活や健康にまで気を配る。

同社はテレビアニメなどの制作に携わる傍ら、「子供たちに本当に見せたいアニメを作りたい」と自主制作も手掛け、保育園、幼稚園などで出張上映会を開催。エコキャップ集め、市内清掃や献血協力など、地域貢献活動にも熱心に取り組む。「アニメで子供たちも、西東京市も元気にしたい」が豊永代表の願いだ。

企業Data

株式会社エクラアニマル

◆住所:西東京市北原町3-6-10

◆電話:042-465-9331

エクラアニマル

検索